

# 府中がんケアを考える会通信 第30号

2017/3/25



## 昨年を振り返りー来年度に向けて

会長 駒ヶ嶺 泰秀

本年度の終わりにあたって一年を振り返りかえってみます。

患者会を11回開催することができました。延べ69人の方の参加をいただきました。

いつも参加する方と初めての方が同じテーブルで自己紹介、会に来られたお気持ちを縷々語り合いました。会終了後も話し込んでいらっしゃる方もおりました。

5月29日には15回総会を持ちました。恒例として講演会を行い、多摩総合医療センター・内科部長 芝祐信先生からお話をいただきました(通信27号に詳細)。

一般の方も含め、61名の参加をいただき、盛況のうちに終えることができました。

総会、懇親会も出席された会員の皆様の熱意により、無事終了することができました。

11月27日には「つながりフェスター市民協同まつり」(グリーンプラザで開催されたボランティア団体のイベント)に参加し、がん相談、アンケートのお願いなどを通じ、会の存在をアピールしました。

12月11日には多摩総合医療センター・ソーシャルワーカー 堀尾さんによる講演会を開催しました。52名の参加を得、質疑応答も活発に行われました(詳報別掲)。講演会の後は懇親・忘年会。楽しく一年を締めくることができました。

### 改めてがんについて考える

右の図はがん研究センター・がん情報サービスが発行している小冊子の巻頭に掲載されているものです。こんなにもがんに罹るひとがおり、こんなにも多くのひとが亡くなるというのに、多くのひとが「私はがんにならない」と思い込んでいます。

人生のどこかの段階で体調がおかしいので検査を受けたら「がんです」と言われ、初めて「大変なことになった」と気づきます。

ですから健康な時から「がん」についての考え、知識を持つ、ということが大切なのだと思うわけです。

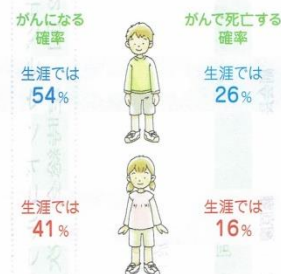
私たち「府中がんケアを考える会」では多くの方にがんについて関心を持ってほしい、と思いつつ活動をしています。

### 1. がんについて知っていただきたいこと

#### 1 基礎知識

##### ◆ 誰でもなる可能性がある

現在日本人は、一生のうちに、2人に1人は何らかのがんにかかるといわれています。がんは、このように全ての人にとって身近な病気です。



2005年データに基づく累積罹患リスク および 2009年データに基づく累積死亡リスク  
国立がん研究センターがん対策情報センター

### 第16回総会のご案内(詳細別掲)

5月21日(日) 午後1時30分開会 ルミエール府中・講習会議室

## 『多摩総合医療センター がん相談支援センター』

講師:堀尾 彩乃 さん

(東京都立多摩総合医療センター 医療相談担当 ソーシャルワーカー)

H28年12月11日にルミエール府中にて講演会を開催しました。

講師は、多摩総合医療センターで日々、患者さんやご家族が主体的に動けるようにサポートしていらっしゃる医療ソーシャルワーカーです。

当日は52名の参加があり、質疑応答も活発で、盛況の会となりました。



## ～＜講演概要＞～

## ◎ 多摩総合医療センターについて

・多摩地域における唯一の総合的な医療機能を持つ都立病院として、救急医療、がん医療、周産期

医療、脳血管疾患医療、心臓病医療、難病医療、移行医療、精神科救急医療、結核医療、障害者歯科医療及び造血幹細胞移植医療を重点医療とし、高度・専門医療を実施している。

・原則、紹介制で予約制。皆さんの身近な地域の医療機関の先生からの紹介状が必要。

・多摩総合医療センターでの治療の結果、病状が安定した患者さんは紹介元の医療機関に“逆紹介”で戻って、治療を受けていただく。

## ◎ がん診療連携拠点病院について

・全国どこでも質の高いがん医療を提供することができるよう、全国に約400か所の「がん診療連携拠点病院」が指定されている。多摩総合医療センターはその中の一つで、「地域がん診療連携拠点病院」に指定されている。

・多摩総合医療センターは、あらゆる がんについて高度な医療を提供し高い実績を誇るとともに、「地域がん診療連携拠点病院」として多摩地域におけるがん医療の拠点的な役割を担っている。

## ◎ 多摩総合医療センターの『がん相談支援センター』について

・多摩総合医療センターには、医療・福祉に関することや心理的な悩みまで様々な相談に応じる「総合患者支援センター」がある。(病院内での場所は1階の9番。)

・「総合患者支援センター」の中で、がんに関する様々なご相談を『がん相談支援センター』で受けている。

・『がん相談支援センター』では、がん体験者や心理士、認定看護師、医療ソーシャルワーカーが相談にのる。

・『がん相談支援センター』では、下記のような困りごとの相談が可能。

- ・がんと相談されてショック。話を聴いてほしい。
- ・家族のこと、仕事のこと、経済的なことが心配。
- ・緩和ケア病棟(ホスピス)のある病院を知りたい。
- ・セカンドオピニオンて、何？

『がん相談支援センター』の相談は、電話は随時。面談は予約制。

実施日時は月曜から金曜の9時から16時。多摩総合医療センター以外の病院の患者さんも利用可能。費用は無料。

### ◎ がん情報センターと木漏れ日サロン

- ・多摩総合医療センターには、がん患者さんが気軽に立ち寄ってじょうほうを得られるように、がん情報センターを病院の出入り口近くに設置。がん体験者のボランティアスタッフが、図書の貸し出しや情報提供、各種説明会や患者サロンの案内などを実施している。
- ・がん情報センターでは、ピアサポーターによるがん相談(予約制)も実施。
- ・現在、ブレストケア(乳がん術後の下着の説明)・ウィッグ(医療用かつらの説明)・ストーマケア(人工肛門・人工膀胱について)・ワンポイントメイク&ネイル(化学療法中のお化粧)を、各種説明会として実施。
- ・木漏れ日サロンは、多摩総合医療センターに入院中・通院中のがん患者さんとその家族を対象に、週2回開催している。
- ・木漏れ日サロンの中で、月に1回は“ミニミニ講習会”として、病院内の医師や看護師や薬剤師などを講師に、30分の講習会を行っている。

例えば「化学療法中の口腔ケア」、「乳がんの治療の選択について」など。



### ～＜質疑応答＞～

Q:がん相談支援センターでの一人当たりの相談時間は？

A:大体1時間程度です。

Q:ピアサポーターについて。どなたががん患者さんがどんな研修を受けてピアサポーターになるのですか？具体的に知りたい。

A:多摩総合医療センターでのピアサポーターは現在2名。NPO キャンサーネットジャパンの研修を受けた方。具体的な研修内容についてはキャンサーネットジャパンに訊いていただければと思います。

Q:地域連携について教えてほしい。例えば、府中市のS町に住んでいる人が多摩総合医療センターに通院中の場合、どうやって病院は地域と連携してくれるのですか？

A:主治医からがん相談支援センターのスタッフに依頼が入るので、ソーシャルワーカーや看護師が患者さん本人や家族に会って話を聞かせてもらいます。

希望や方針を整理して、その後に地域のケアマネや訪問看護師に連絡します。これから新しく訪問看護をお願いする場合などは、自宅住所近くの訪問看護ステーションに連絡してみるなどしています。

Q:セカンドオピニオンを受けたい場合、どこの病院が良いのか？どの医師が良いのか？

がん相談支援センターに相談したら紹介してもらえますか？

A:自宅近くで何件かの医療機関を、情報として提供しています。

Q:セカンドオピニオンで他の病院を受診したが、予約してから1か月半以上待たされての受診だった。セカンドオピニオンをもっと早く受診することはできませんか？

A:患者さんの病状で急を要する場合には、セカンドオピニオン受診予定の病院へ多摩総合医療センターから連絡して「早くしていただきたい」とお願いすることはありますが、それで受診が早くしてもらえとは限りません。

Q:病状が悪くなり受診したところ、「ベッドが空いていないから」と3ヶ所の病院で断られた。ベッドが空いていないという理由だけで断られてしまうものですか？

A:正直なところ、多摩総合医療センターでもベッドが空いていない場合に断ることはあります。次の病院は探してお伝えしています。

Q:半年ほど前に手術して退院しました。入院していた病院は手術をただけで、心のケアは全く何もしないままの退院でした。家に戻ってからも、気持ちがツライ毎日を過ごしている。

心のケアが必要だと思うのですが、多摩総合医療センターではどのようになされていますか？

A:退院なしてから不安になること、誰にでもあると思います。がん相談支援センターにお電話いただければ、ご相談が受けられます。がん相談支援センターの電話相談は多摩総合医療センター以外の患者さんも利用可能です。ご相談ください。

電話番号は042-323-5263(直通)です。



## 今後のスケジュール

4月23日 午後1時30分 患者会(中央文化センター・第2会議室)

### 第16回定期総会のお知らせ

5月21日 ルミエール府中 講習会議室

午後1時30分開会

午後1時30分～3時 講演会

午後3時10分～4時 定期総会

午後4時20分～ 懇親会(会費2,000円)

講演

講師 多摩総合医療センター がん看護専門看護師 <sup>あぜち</sup> 疇地 和代さん

テーマ がん患者さんの心のケア、ご家族のケア、患者さんへの関わり方(仮)

編集後記 2月1日親しい友人が亡くなりました。大腸がんです。幼なじみ、高校からの付き合いの友人など、兄弟のように話ができる友達がなくなりました。先日陣馬山から高尾まで歩きました。登山とは言えないハイキングコースですが20Km、5時間ちょうどよいトレーニングになります。楽しみにしていた高尾の湯は入場制限でがっかりでした。

武智

発行 府中がんケアを考える会・会報編集部

連絡先 183-0004 東京都府中市紅葉丘3-33-4 駒ヶ嶺 泰秀 電話・FAX 042-302-2607

Mail: ktakechi@fuchugancare.org(武智)